

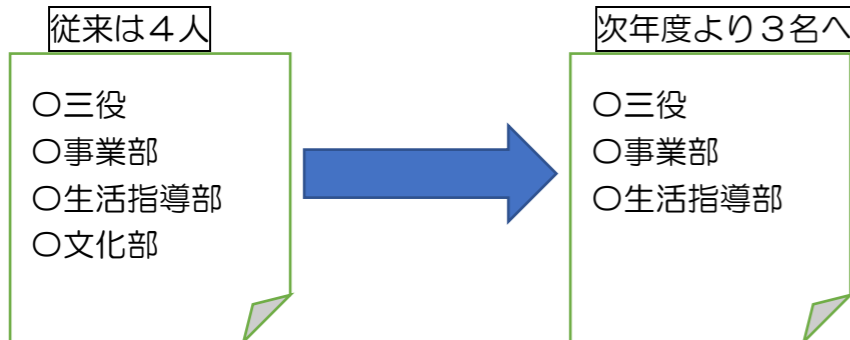
高野小のPTAが変わります

高野小PTA

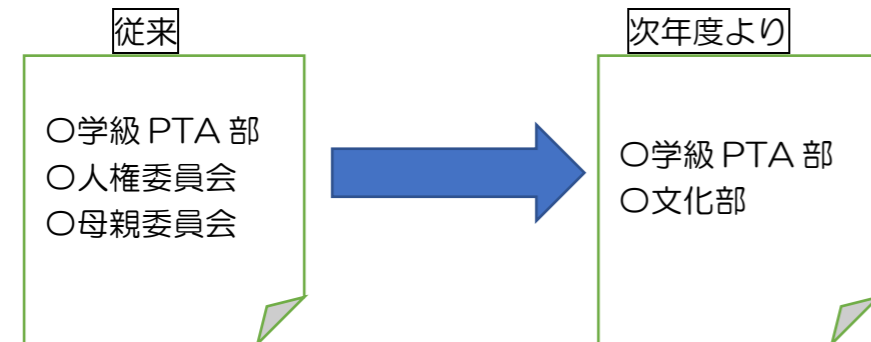


次年度（2025年度）から高野小学校PTA組織が変わります。各地区や学級の選出方法もかわります。ポイントは下記の通りです。詳細な理由は左をご覧ください。ご確認をよろしくお願いいたします。

1 地区選出の役員数が変わります！

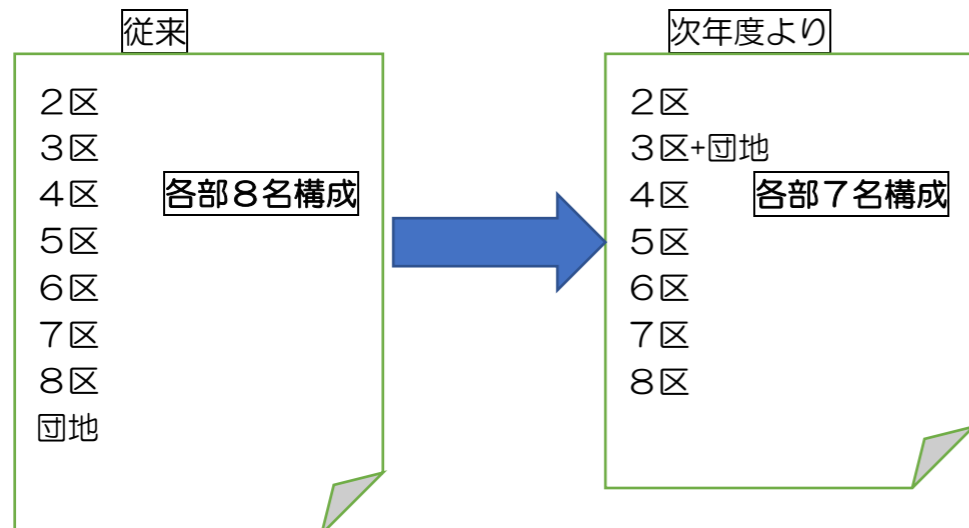


2 学級選出役であった人権委員会と母親委員会がなくなり、地区選出の文化部を学級役に移行します。



3 従来の8地区から7地区に変更となります。

〇団地地区の家庭数減少により役員選出は3区と一緒に、三役・事業部・生活指導部の役員は7名の構成となります。



PTA 組織改革についての説明

地区選出役について

従来、各地区から三役、事業部、生活指導部、文化部の4人を選出していたでしたが、各地区からの選出を3名にすることにします。

変更内容は以下の通りです。

〇三役・・・各地区の代表・窓口は必要であるため、存続。

★変更の内容

・名称の変更

会長・会長代理・副会長の名称は従来通り。会計はコロナ前にクリーンアップ高野でガレッジセールが行われていた際に会計を行っていたが、現在はその役目がなくなっている。以上のことから会計を会議録等を取る書記に変更する。

・各地区の通学班把握の窓口担当（地区代表）を作り、その間の連絡を三役が統括する。

〇事業部・・・夏の奉仕作業の企画・運営、地区への声掛けが必要であるため、事業部は存続。

〇生活指導部・・・各地区の危険箇所把握や三役と連携しての飛び出しくん設置等の安全な登下校を推進していく役割があるため、生活指導部は存続する。

〇団地はPTA役員選出に関して3区と統合する方向で協議をしている。

以上のことから、次年度は三役、事業部、生活指導部員は従来の8名から7人となる。

〇文化部が地区役選出であったのは、広報誌を各地区に配布する際に

地区の世帯数を把握した地区封筒を作成していたためである。しかし地区封筒が廃止された現在、地区役として選出する必要がなくなった。このことから文化部を学級役へ移行する。

学級選出役について

各学級から選出する学級部は従来通り選出するが、人権委員会・母親委員会は廃止し、文化部を新たに立ち上げる。

〇人権委員会はコロナ禍以降、活動が休止状態にあり、現在も活動がない。

母親委員会は、「母親」という女性のみが子育てに関わるというイメージがあり、時代にそぐわない面がある。以上の理由から二つの委員会を廃止する。母親委員会が行っていたチャレンジカードの役割は、学校が生徒指導の一環として行う。

〇学級部・・・児童・保護者同士のふれあう企画は、必要と考え従来通り存続。

役員は、3～4名程度（各学年の状況に応じて選出人数を部会で決めてもらう）。

〇文化部・・・各学年の学級代表の役員の中から1名選出

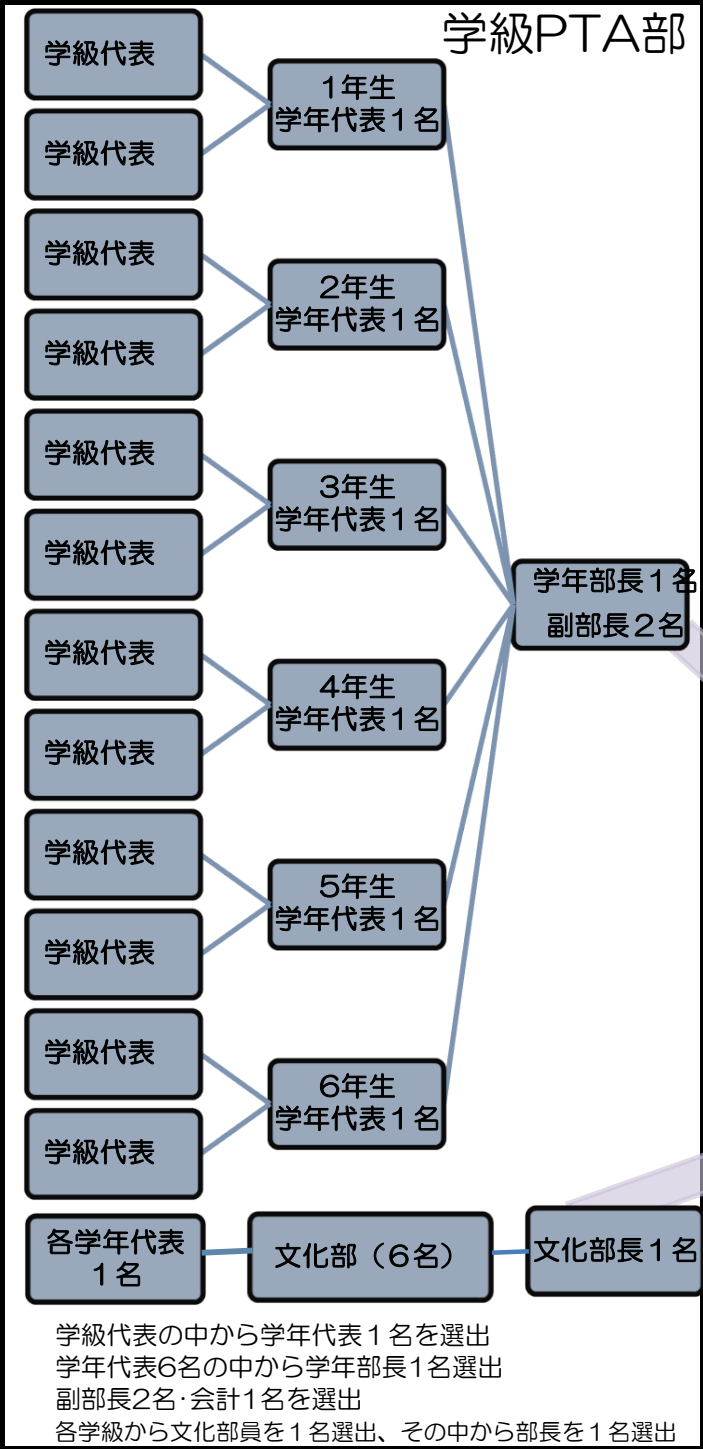
広報誌「ふれあい」年1回作成

教育講演会の取り組み（部会内で次年度の方針を出し、年間計画を見直してもらう。）

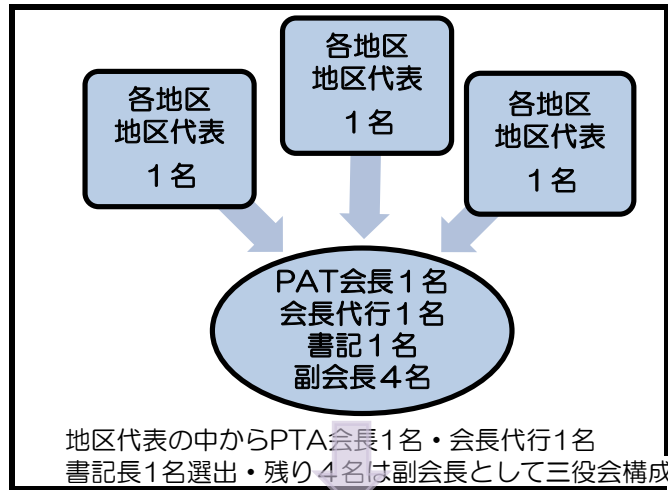
裏面変更後のPTA組織図を掲載しています。

2025年高野小学校PTA組織

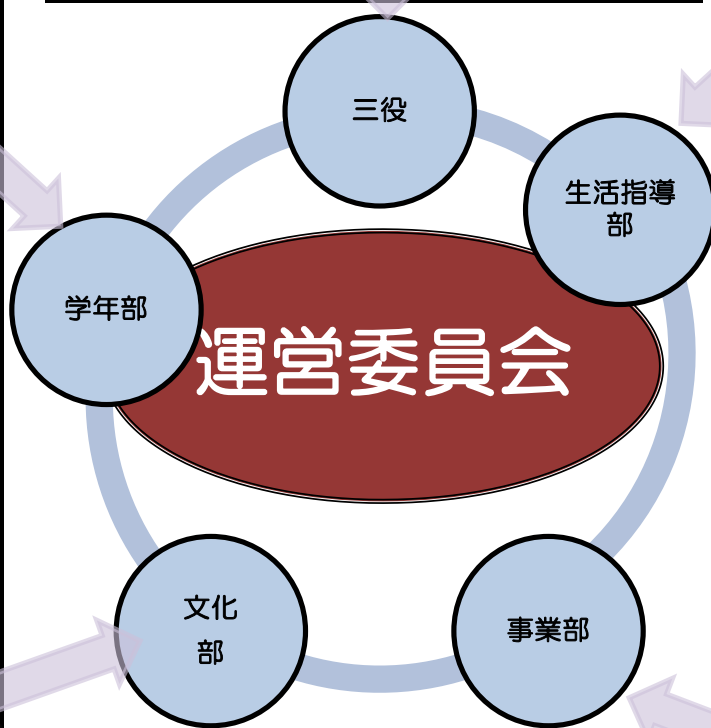
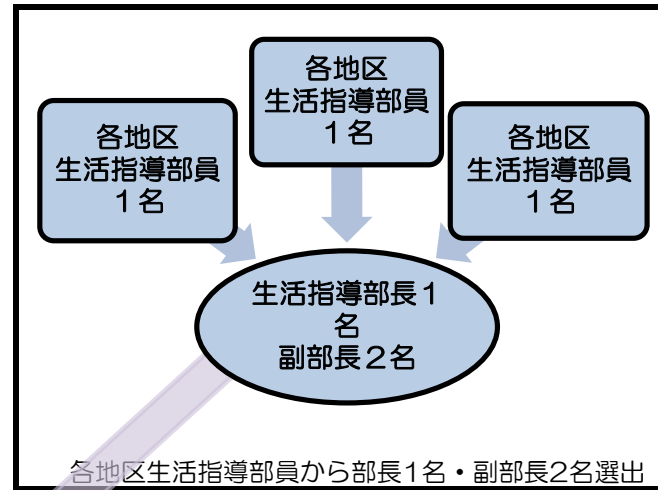
学級PTA部



P三役

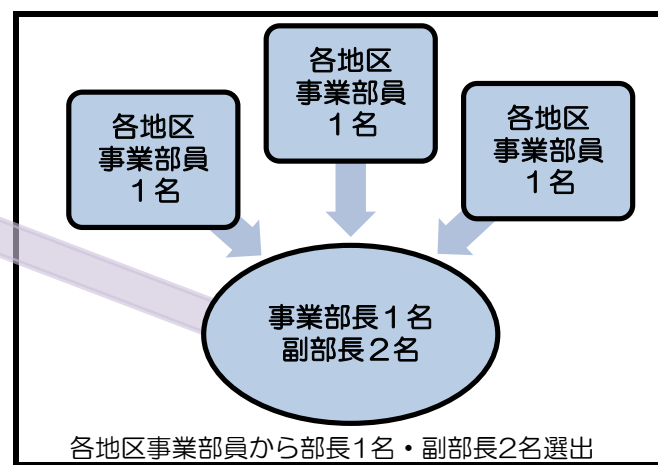


P生活指導部



三役・専門部(生活指導部・事業部)・学年部
運営委員会は、PTA総会に次ぐ、PTA活動の決定機関

P事業部



各地区とは2~8区(団地は3区に含まれる)の計7地区を指す